

大学・医療の姿(- 2015. 10. 31)

[本企画については、各新聞社の許諾を得ての記事掲載です。ただし、朝日（朝日新聞）と毎日（毎日新聞）は記事タイトルの紹介。読売（読売新聞）と山梨日日（山梨日日新聞）は、記事本文からの抜粋紹介です。]

教育現場

2015. 07. 25 朝日 大阪医科大学医師によるこどもたちのための医学フォーラム、第三回体験1日医学生 医学部の授業を聞いてみよう！第一部「臨床アレルギー学」～スギ花粉症について環境に学ぶ 第二部「微生物学」～ばいきんとのじょうずなつきあいかた 第三部「輸血学イントロダクション」～献血者の思いを医療と研究の現場に届ける 河野 武弘先生。

2014. 12. 02 読売 米国の大学での性暴力の実態（ホワイトハウスの資料などから）

- ・ 女子学生の5人に1人が在学中に何らかの性暴力を経験
 - ・ 酒などで判断能力を失った人へのレイプの58%はパーティーで発生
 - ・ 警察当局に届け出る被害者はわずか12%
 - ・ 男子学生の7%が性暴力（未遂含む）に関与
 - ・ 上記加害者の内63%は平均6回の常習者
- コロンビア大学の新対策と被害学生らの主張

大学の新対策：

- ・ 性交渉の際は明確な同意が必要
- ・ 被害者・加害者双方に法律の専門家を紹介
- ・ 専門的な訓練を受けた調査官や職員が調査を担当
- ・ 学部長は決定再検討や再調査を求めることができる
- ・ 被害者支援窓口を増設し、スタッフを増員

被害学生側の要求：

- ・ 全学生に対し、学期ごとに性暴力防止教育
- ・ 学部長は処分決定プロセスに参加しない
- ・ 性暴力には厳罰で対処

2014. 07. 23 読売 早大博士論文、審査の形骸化。日本の博士号に対する国際的信用も揺るがしかねない。早大には徹底した実態解明が求められる。他の大学も、学位授与の審査体制を点検すべき。

2014. 08. 08 朝日 大学教員に成果主義の波、年俸製導入で交付金 国が先導各地で続々。

2014. 10. 10 朝日 大学格付け しのご削る英国、教員・学科 大ナタも、論文・就職 指導細やか、学生は「お客様」。日本、劣勢に危機感「ランキングで測れぬものも」。

2014. 10. 24 朝日 名古屋大、アジアで博士育成 3カ国にサテライトキャンパス開校、現地の国家公務員ら対象 入学者を厳選 授業料免除。

2014. 11. 04 朝日 奈良先端科学技術大学院大学、フォーラム「未来の創造」、社会が求める科学、女性・外国人・シニア「宝」生かせ 野間口 有さん（三菱電機相談役、産業技術総合研究所最高顧問）、イノベーションの課題、何を育てるか問え 尾関章さん 科学ジャーナリスト、視点広げる助っ人を 高橋真木子 金沢工業大学教授、基礎研究か 応用か 好奇心評価したい、小笠原直毅 奈良先端科学技術大学院大学長、大学発ベンチャー、技術3割 後は運営金出武雄 カーネギーメロン大学教授。

2014. 11. 05 読売 警察の依頼で行う司法解剖について、29大学が、臓器などを摘出・保存する際、その事実や目的を遺族に伝えていないことがわかった。うち22大学では、摘出した多数の臓器などを一定期間保存した後、遺族に知らせないまま処分していた。理由は「置く場所がない」など。遺体の所有権は判例などから遺族にあるとの解釈が一般的。

入試

2014. 10. 25 朝日 大学入試学力以外も重視、志望理由書・プレゼン・部活動…中教審が改革答申案 「覚える」から「考える」へ転換、記述式、思考・表現力問う、評価の基準づくり課題、「点数ないと」戸惑う高校生。

2015. 01. 23 読売 中央教育審議会は大学入学希望者学力評価テスト（仮称）の導入などを答申した。早ければ2020～21年初頭に実施される。「知識、技能」だけでなく、「思考力、表現力など」の評価を目指す。千葉大の「総合テスト」などは、新テストの理念に重なる。2012年度入試から医学部と工学部で、1科

目だった理科を2科目へと増やした。同大の後期試験では、医学部の「理科、数学、英語の総合的な設問」、「総合テスト」がある。

製薬

2014. 11. 03 読売 製薬企業の売り上げ上位10社が昨年度、医師らを対象に開いた薬などに関する講演会は計7万回で、講師の医師らに支払った謝金の総額は110億円になることが、わかった。年50回以上講演を行い、1000万円を超える謝金を受け取った医師も10人以上いた。

2014. 11. 03 読売 京都府の開業医の和田成雄さんらは02年に「京都糖尿病医会」を設立して、自主的に勉強会を開いている。「薬の利点だけでなく、危険性を知ることが大切」との考えで、テーマや講師は会員の話し合いで決める。企業と共催する場合も、テーマや講師は自分たちで選ぶ。

2014. 07. 23 毎日 奨学寄付金公開進まず、バルサルタン捜査終結へ。

2014. 07. 23 読売 バルサルタン（商品名）「ディオバン」の臨床研究データ改ざん事件で、東京地検特捜部は22日、バルティスファーマ元社員を薬事違反（誇大記述・広告）で東京地裁に追起訴。捜査は一区切りを迎えた。改ざんの背景、ノウハウに乏しい大学側が、統計に詳しいとされる被告にデータ解析を丸投げしたことがある。

2014. 07. 23 毎日 残された課題、ノバルティスが不当に得た利益の行方、臨床試験の法規制、医薬品の広告のあり方。

2014. 07. 28 朝日 医師の不正関与を防ぐには、奨学寄付金など不透明な資金提供をやめ、製薬会社の委託研究として実施するべき。

2015. 02. 28 朝日 ノバルティス副作用未報告 15日間の業務停止命令。

2015. 03. 16 読売 高血圧治療薬バルサルタン（商品名）「ディオバン」を巡るデータ改ざん事件で、「済生会滋賀県病院」（滋賀県栗東市）では、「非投与」の患者が狭心症や脳卒中と判定されるように「ウソの症状を入力したデータを同大に報告した」と供述したという。

医療事故

2014. 12. 25 読売 日本産科婦人科内視鏡学会は、手術の死亡事例を調査した。死亡患者は5人いたが、いずれも腹腔鏡手術が原因ではないと結論づけた。13年の腹腔鏡手術件数は3万7782件。

2015. 01. 16 朝日 長岡赤十字病院医療安全推進室長 富樫賢一、手術後の合併症 医療事故との認識が必要。

2015. 09. 03 読売 がん研有明病院長、山口俊晴氏、肝胆膵は、胆のう結石手術以外はこれからの分野だが、全て危険なわけではない。この出来事を教訓とし、腹腔鏡手術が健全に進歩する契機としなければならないと思う。

危機管理（群馬大）

2014. 12. 18 読売 別の大学病院の外科医は「手術に関連した死亡があれば、何か見逃している問題点はないか心療科で徹底的に議論すべきで、何もしないというのは普通ありえない」と話す。同科の姿勢は、ヒトの体を傷つける「手術」という医療行為を手がけるにとしては緊張感を欠けていたと言わざるを得ない。とりわけ、第二外科のトップである教授の責任は重い。

2014. 12. 22 読売 群馬大学病院、第二外科（消化器外科）による肝臓の開腹手術でも、過去5年間で、84人中10人が手術後3ヶ月以内に死亡していたことがわかった。開腹手術の死亡率は11.9%に上り、全国的な肝臓の開腹手術の死亡率に比べ3倍という高率だった。全国で行われた外科手術を登録するNCD（ナショナル・クリニカル・データベース）から肝切除の手術成績を分析した研究によると、肝臓の開腹手術の術後3ヶ月以内の患者死亡率は、比較的リスクの高い切除方法に絞ったデータで4.0%。

2014. 12. 24 読売 世界医師会が1981年に採択した患者の権利に関する「リスボン宣言」は、「患者は自分自身の決定を行う上で必要とされる情報を得る権利を有する」としている。しかし、群馬大学病院の問題では、遺族の証言や残された文書からも、インフォームド・コンセントがおざなりだったことが明らかになった。遺族によると、腹腔鏡手術のメリットが語られた一方で、「デメリットは聞かなかった。反対に、開腹手術のデメリットは話していました。傷が治

るまで大変ですよって」。

2015.01.14 読売 群馬大学病院に対し、厚生労働省は13日、前橋市と合同で立ち入り検査を行った。厚労省は、病院のずさんな安全管理は事態を招いたとみている。

2015.03.04 読売 群馬大学病院で執刀医による診断書の虚偽記載が明らかにされた。死後、がんでいなかったと判明しながら執刀医が遺族に伝えず、診断書にウソの病名を書いていた。

2015.03.04 読売 群馬大学病院に腹腔鏡手術問題 2010年12月～14年6月、第二外科による肝臓の腹腔鏡手術を受けた患者93人のうち8人が術後3ヶ月以内に死亡したことが昨年11月に発覚した。同12月には開腹手術でも09年度以降10人の死亡が明らかになっている。別の病院の外科医、「手術後に出血や胆汁の漏れがあった例が多い。技術的に問題があるとしか考えられない」。「腹腔鏡手術の実績を作りたかったのではないかと疑いをもった」。具英成・神戸大肝臓外科教授「診療科内で、手術能力の評価や手術成績の検証などチェック体制がずさんだったためではないか」。

2015.03.05 読売 2010年～14年に、群馬大学病院第二外科で腹腔鏡の肝臓手術を受けた8人が100日以内に死亡した問題について、病院が調査報告書を発表した。どうして腹腔鏡手術を繰り返したのか。報告書がこの点に触れていないのは物足りない。責任者の教授は「認識の甘さ、指導力のなさに問題があった」と反省している。群馬大学病院は、死亡例を検証する専門委員会を新設する。外科の診療体制を再編する改善策も示した。地域の基幹病院として、再発防止体制を築くことが急務だ。

2015.03.24 読売 日本肝胆膵外科学会が行った全国調査。半数を超える病院（診療科）で、保険適用外の腹腔鏡手術が倫理審査もせずに行われていたことがわかった。東京財団の髙島次郎研究員は「適用外手術は安全性と有効性が確認されていない手術で、患者が不利益を被る可能性があり、倫理審査は書かせない」と語る。保険適用手術と適用外手術の死亡率の差も目を引いた。肝臓の保険適用手術の死亡率は0.27%であるのに対し、適用外手術は1.45%で、その差は5.4倍あった。同学会理事長の宮崎勝・千葉大教授は「腹腔鏡手術は保険適用外といっても、比較的軽い症例を選んで行われていると推測される。それでも、死亡率の差がこれだけあるのは驚きで、注意が必要だ」と見ている。

群馬大学病院第二外科で腹腔鏡手術の後、死亡した8人のうち3人は、胆管切除を伴う肝臓手術を受けていた。肝臓の腹腔鏡手術を日本で最初に行い、この分野の第一人者である金子弘真・東邦大大森病院消化器センター教授でさえ、「私自身は胆管切除を伴う腹腔鏡下肝切除は1例も行っていない」と慎重な対応を守っている。

2015.10.27 読売 群馬大学病院の管理体制を検証する改革委員会、提言の中間まとめを公表。問題点：1. 協力体制がなかった、2. スタッフ数に見合わない手術、3. 適格性を疑われる医師、4. 病院長や教授の指導力不足。改善点：1. 複数部署の仕組み、2. 教授の能力評価体制、3. 他部署への口を出せない文化の払拭。

倫理

2014.11.08 朝日 東京大学医学部6年 岡崎 幸治、東京大不正疑惑「患者第一」の精神こそ。

2015.01.28 読売 「社会が求めるのは、批判的・論理的な思考能力やリーダーシップを持つ人材」。

研修

2014.06.08 山梨日日 山梨赤十字を基幹病院とし、富士吉田市立、都留市立、大月市立中央、上野原市立を協力病院とする病院群を編成。2012年度から合同で研修医を募集しているが、採用ゼロが2年続いている。病院間連携の成功。沖縄県の「群星沖縄」民間中心の28医療機関が研修医を募集、2014年度から55人を確保。「病院が集まるだけでは意味がない。理念の統一が最も大変だった」、進路の決め手、「先輩が多くいるので指導医の技量や院内の雰囲気を実音で聞くことができる」、「東京など便利な都会」。

研究

2014.10.30 読売 日本医療研究開発機構の主な達成目標、2020年まで。

- ・ 医療機器の輸出額を11年の倍の1兆円にする。
- ・ iPS細胞を使い、薬の臨床応用を実現する。

- ・ 10 種類以上のがん治療薬の治験を始める。
- ・ インフルエンザやデング熱の迅速診断法を、遺伝情報を使って開発する。
- ・ 認知症、うつ病の根治治療薬の治験を始める。

2020～30 年頃

- ・ 糖尿病や脳卒中などの症状を、遺伝情報を使い劇的に改善させる。
- ・ がん発症や抗がん剤の副作用の予測診断法を確立する。

2014. 08. 08 朝日 軍事共同研究に反対のアピール 大学教授ら有志、池内了・名古屋大学名誉教授（宇宙物理学）「科学者として、人を殺すための研究は一切拒否するという倫理を持ってほしい」。

文科省

2015. 10. 07 読売 文部科学省が火消しに奔走。「人文社会科学系の学問は不要だとの受け止めがあるが、明確に否定したい」、日本学術会議の幹事会、「通知は説明通りには読めない」日本学術会議の大西隆会長は「通知を出し直すべき」と指摘しているが、文科省は「あくまで誤解で、撤回は必要ない」と主張している。【文科省が国立大に出した通知の抜粋】教員養成系学部・大学院、人文社会科学系学部・大学院については、18 歳人口の減少や人材需要、教員研究水準の確保、国立大学としての役割等を踏まえた組織見直し計画を策定し、組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換に積極的に取り組むよう努めることとする。

2014. 10. 11 朝日 文科省、研究分野別の補助金公表 地方大学一芸の強み、長崎大 寄生虫学、静岡県立大 食生活学。

2014. 10. 25 読売 日本の大学の国際競争力強化に向け、文部科学省が先月 37 大学を指定したスーパーグローバル大学、このうち、グローバル化「けん引型」には、応募した 93 大学から 24 大学が採択された。「トップ型」に 16 大学が応募し、13 大学が採択された。東京芸術大は、同大のキャンパスのほかに、美術館や博物館など文化施設が集積する東京都台東区の上野公園一帯を、国際的な芸術の拠点とする構想を掲げる。東北大は、東日本大震災の経験を踏まえた防災研究などについて海外の大学と協力し、国際共著論文を増やす計画。留学生や外国語による授業の割合なども重視され、「外国人や海外で研究歴のある教員の割合を 96%に」（国際基督教大）、「留学生経験者を 100%に」（芝

浦工業大) といった教値目標が掲げられた。

2014. 11. 07 読売 文部科学省の国立大学法人評価委員会は、第2期中期目標(2010～15年度)で中期計画通りに業務を進めているかを判定した13年度の評価結果を公表した。東京工業大学については法令順守などで最低評価にあたる「重大な改善事項がある」と指摘した。一方、大学の施設管理運営などを自己評価するシステムを構築した北海道大と、教員への年俸制適用などを決めた長崎大が最高評価を受けた。

2015. 03. 14 朝日 国立大学交付金 配り方見直し、文科省案 国が示す重点項目で評価。